



SDGs 達成に向けた取組みについて

【空知信用金庫SDGs宣言】

当金庫は、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」の趣旨に賛同し、当金庫の経営理念である「郷土の繁栄に寄与し、大衆からも職員からも喜ばれ、敬愛と信頼される信用金庫を創る」ため、SDGsを経営計画に反映させ、地域金融機関として地域社会の課題解決を実践し、持続可能な社会の実現に向け、これまで以上に積極的に取り組んでまいります。



SDGs「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」です。「誰も置き去りにしない」という基本理念の下、2030年までに達成を目指す世界共通の目標として、17のゴール(目標)と169のターゲット等から構成されています。先進国・途上国を問わず、世界全体の経済、社会及び環境の三側面における目標達成に向けて、政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、個人一人ひとりに役割があり、それぞれが協力・連携することが求められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>ゴール1 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>ゴール2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>ゴール3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>ゴール4 すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p>
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>ゴール5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>ゴール6 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>ゴール7 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>ゴール8 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>ゴール9 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>ゴール10 各国内及び各国間の不平等を是正する</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>ゴール11 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>ゴール12 持続可能な生産消費形態を確保する</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>ゴール13 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>ゴール14 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>ゴール15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>ゴール16 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p>ゴール17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>	<p>SDGsを象徴するカラフルな円形マークは、スウェーデン出身のクリエイティブ・ディレクター、ヤコブ・トロールベック氏が作成しました。デザインの意図は「すべての目標がひとつになり、統合されている印象を与えられる、太陽のような形状のものにしたかった」とのこと。SDGsの重要な基準である「すべての国が一体となって取り組む普遍性」や「誰ひとりとして輪から取り残さない包摂性」もイメージさせる、明るく華やかな意匠となっています。</p>					

第二次中期経営計画の重点課題

総合的な支援力の発揮	1. 地域経済回復に向けた事業者支援									
	2. 個人世帯に対する支援									
	3. 地域社会に対する継続的支援									
業務変革へのチャレンジ	4. 収益改善への取組み									
	5. デジタル化に向けた革新									
	6. 実効性のある内部管理態勢									
組織の活性化	7. 理念教育とホスピタリティ向上に向けた取組み									
	8. 働きやすい職場環境に向けた取組み									
	9. 創立100周年に向けた取組み									



■ 当金庫の地域社会活性化への取組みについて

当金庫は、岩見沢市と周辺の市町村ならびに札幌市を中心とした地域を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となっており、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客様からお預りした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域社会の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

地域経済活性化に向けたご支援

1. 企業再生支援への取組み

経営改善に意欲的なお取引先の皆様に対しまして、各営業店を通じてお手伝いをさせていただいております。令和2年度は、18先について経営改善計画の策定・進捗管理をはじめ、経営全般に関する支援をしてまいりました。また、右記5先についてはビジネスマッチングや販路拡大等の本業に関する支援にも積極的に取り組んでまいりました。

- 事例1) 食品卸売業
海外販路に関する情報のご提供 1先
- 事例2) 飲食業
新型コロナをうけて補助金の申請支援、販路拡大の支援 2先
- 事例3) 農業、食品卸売業
販路拡大に向けての商談会(オンライン含む)のご提案、取引先のご紹介 2先

2. 事業性評価実施への取組み

平成28年度より新たな取組みとして、お客様の事業の強みや成長可能性等を評価する事業性評価実施に取り組まれました。目利き力を発揮した融資に取組み、また、コンサルティング機能を発揮した適切なソリューションを提案し、お客様志向の徹底による営業基盤の拡充を図り、地域金融機関としての存在を高め、地域経済発展に貢献していくための取組みです。令和2年度は、498先について、事業性評価を実施いたしました。

経営改善支援の取組み実績(令和2年4月~令和3年3月)

	期初債務者数A	うち経営改善支援取組み先α	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数			経営改善支援取組み率=α/A	ランクアップ率=β/α	再生計画策定率=δ/α
			先数β	先数γ	先数δ			
正常先①	1,979	3	1	0	0.2%	0.0%	0.0%	
その他要注意先②	584	11	0	10	1.9%	0.0%	36.4%	
要管理先③	6	1	0	1	16.7%	0.0%	100.0%	
破綻懸念先④	86	3	1	2	3.5%	33.3%	0.0%	
実質破綻先⑤	62	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
破綻先⑥	16	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
小計(②~⑥の計)	754	15	1	13	2.0%	6.7%	33.3%	
合計	2,733	18	1	14	0.7%	5.6%	27.8%	

・期初債務者数及び債務者区分は令和2年4月初時点まで整理しています。・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでおりません。・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるものβに含んでおりません。・期初の債務者区分が「う重要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含めております。・期中に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含んでおりません。・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」



1. 地域社会活性化への取組みについて

■ 補助金公募支援の取組み

お取引先の皆様の新製品・サービス開発や生産プロセス改善に向けた取組みを支援すべく、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金をはじめとする各種補助金の公募支援を実施しております。昨年度は、18件の公募支援を行い16件が採択となりました。引き続き、各種補助金を活用しお取引先の皆様の持続的発展に努めてまいります。

■ 「空知オンライン商談会」への協力(主催:北海道空知総合振興局)

新型コロナウイルスの感染拡大により、オンラインでの商談が新たなビジネススタイルとなっていることから、空知管内の食関連事業者における新たなビジネススタイルの導入促進及び空知管内の食関連事業者への商談・交流のきっかけづくりを目的に、「空知オンライン商談会」を実施いたしました。

■「新型コロナウイルス感染症に伴う非対面商談会」の開催

新型コロナウイルス感染症の影響で、商談機会が喪失された食関連企業を対象に、販路支援の一環として首都圏での販売代行事業を実施いたしました。首都圏で開催される展示商談会の多くが中止となるなか、地域産品の首都圏における導入、販売促進の支援に繋がりました。

■SDGs 私募債

令和3年7月より、SDGs に取り組む団体等を支援し、企業の社会的評価の向上につながる取組みとして、「そらちしんきんSDGs 私募債」の取扱いを開始しました。

■岩見沢市への「SCBふるさと応援団」スキームを活用した寄附の実施

信用金庫のセントラルバンクである信金中央金庫が実施する地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団(2020年度)」を活用し、岩見沢市に対して10百万円の寄附を行いました。

事業名:再生可能自立型エネルギーシステム構築事業(農産物残渣や温泉付随ガスなどの地域資源を用いた地域マイクログリッドの構築事業)

寄附者:信金中央金庫 受贈者:岩見沢市 推薦者:空知信用金庫

当金庫と岩見沢市は、平成28年4月に締結しました「地方創生に関する連携及び協力に関する協定」にあります通り、引き続き、地域経済の活性化に資する事業等の実施において、積極的に連携及び協力を行い、地域産業の振興及び発展に寄与して参ります。



■医療機関応援寄付型定期預金「感謝」の取扱い開始について

令和3年4月より、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、当金庫として医療従事者に対し感謝と支援を表明するため、定期預金の募集金額に応じて寄附を行う定期預金の取扱いを開始しました。

そらちしんきん 感謝
医療機関応援 寄付型定期預金

空知しんきんは、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっている医療の志士に感謝し、寄付をします

募集期間 令和3年4月30日～令和3年7月30日
募集金額 20万円 増付金は募集金額の0.10%、最高200万円
預入金額 10万円以上、1,000万円以下 ※金利優待期間2年
対象 個人、個人事業主、法人
預金種類 スーパー定期1年(自動繰上のみ) (ATM取扱い、振替可能、18時間対応サービスとさせていただきます)
年率 0.02%
返済利率 年率0.02%
Sustainable Development GOALS 「SDGs宣言」

詳しくは、お近くの店舗までお問い合わせください
空知信用金庫
http://www.sorafuchishinkin.jp

■そらちしんきん全力応援ローン

令和3年5月より、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業先を支援するため、日本政策金融公庫の劣後ローンとの協調融資商品である「そらちしんきん全力応援ローン」の取扱いを開始しました。

詳しくは店頭または得意先係までお問い合わせください。

空知信用金庫 日本政策金融公庫
そらちしんきん 全力応援ローン

「そらちしんきん 全力応援ローン」は、空知信用金庫と日本政策金融公庫(以下、それぞれ「当金庫」、「日本政策金融公庫」)が連携して新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域事業者の皆さまを支援する協調融資スキームです。

日本政策金融公庫の新型コロナウイルス感染症対策支援本部が提供(以下、「新型コロナウイルス対策支援本部劣後ローン」という)等を通じて、地域事業者の皆さまの経営体質の強化を図りながら、事業の発展・持続を応援します。

対象	「そらちしんきん 全力応援ローン」 ・事業計画の策定が完了している事業者 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者 ・事業計画書を策定し、事業の発展・持続を図る事業者
ご利用いただける方	・事業計画の策定が完了している事業者 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者 ・事業計画書を策定し、事業の発展・持続を図る事業者
対象となる融資制度	以下の融資制度による協調融資 ・当金庫 → プラン事業、各種性の融資等 ・日本政策金融公庫 → 新型コロナウイルス対策支援本部劣後ローン、各種融資制度等
お申し込みの条件	事業を行うために必要な設備資金および運転資金 融資金額が返済能力に相当する等
融資条件	融資条件・無担保(ご利用の制度によって融資・保証人はいくづく場合がございます。)
担保・保証人	・事業計画策定が完了した段階まで、地域事業者の皆さまのご要望に応じて当金庫と日本政策金融公庫とで決定いたします。 ・融資開始後には専門家の助言が必要となる場合は、各種支援制度を活用します。
その他	・日本政策金融公庫の新型コロナウイルス対策支援本部劣後ローンには保証制度は、別途ご契約となりますので、日本政策金融公庫の保証制度と併せてご契約ください。 ・融資開始後には専門家の助言が必要となる場合は、地域事業者の皆さまのご要望に応じて当金庫と日本政策金融公庫とで決定いたします。 ・融資開始後には専門家の助言が必要となる場合は、地域事業者の皆さまのご要望に応じて当金庫と日本政策金融公庫とで決定いたします。

2.文化的・社会的貢献に関する活動

■「空知フェア」協力(ホテルオークラ札幌)

空知管内の事業者様の販路拡大をバックアップするため、ホテルオークラ札幌で開催される「空知フェア」の告知活動に協力しております。同フェアでは、空知の食材、加工品を使用した料理が提供され、空知のPR並びに知名度向上に繋がりました。

■「軽トラ移動畑で収穫体験！」開催

南幌町の若手農家の団体「農猿(のうえん)」が主催する札幌市の保育園にて開催されたイベントに当金庫が協力いたしました。南幌町のとうもろこしとキャベツを畑から土ごと掘り起こし、土のまま軽トラックに乗せて移動畑で収穫体験するというものです。収穫体験のほか野菜クイズも行われ、園児にとって野菜への興味や関心を深める機会となりました。





■「北海道絆プロジェクト第三弾【南空知フェア】」協力

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、売上の減少等事業に支障をきたしている顧客に販売の機会を提供し、売上拡大を支援するイベントを三井アウトレットパーク札幌北広島にて開催いたしました。南空知の7市町から全13団体・企業にご参加いただき、大盛況のうちに終了いたしました。



■「そらちしんきんマルシェ」開催

新型コロナウイルスの感染拡大によるイベントの中止や外食産業の売上減少により、販路が縮小している地域の生産者を応援すべく、岩見沢観光協会協力のもと本店、札幌西支店及び琴似支店にて無人販売所を開催いたしました。令和3年度も引き続き無人販売所の開催を他の店舗でも予定しております。



■ 岩見沢青年会議所との共催による出前授業開催 (岩見沢中央小学校)

「ふるさと教育 知ろう！伝えよう！岩見沢の産業」をテーマに小学5年生を対象に実施いたしました。金融機関を身近に感じていただくとともに、岩見沢の産業を知り、「仕事」に興味を持っていただく機会となりました。



■ 金融出前講座「はたらく女性のための資産運用ガイド」開催

岩見沢警察署において女性職員向けに、金融出前講座「はたらく女性のための資産運用ガイド」を開催しました。

■ 照明器具のLED化

環境保全の取組みとして、電力使用量の削減を図るため、全店(貸借店舗を除く)の照明器具をLEDに更新しています。※由仁支店は今秋を予定。

■ 名刺・封筒の素材の変更

環境保全の取組みとして、役職員の名刺の台紙を間伐材製とし、また現金封筒の一部を非木材紙のバガス(サトウキビの搾りかす)から作ることにしました。

■ 献血活動への参加



各地区にて、地域住民の皆様とともに、献血活動に積極的に参加しております。

文化活動など

■ 景況レポート

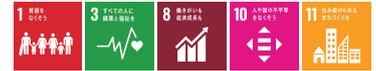
南空知管内の8業種を対象として年4回、経済動向等の調査を行い、管内景況レポートとして発行しています。



■ まちかど短信

年3回地域のさまざまな話題や、グルメ情報などを掲載して発刊(新聞折込)しています。はがきの他、QRコードでアンケートのご回答・プレゼントのご応募が可能となりました。





令和2年度におけるお客様満足度の向上に向けた取組みの事例について、次のとおりお知らせいたします。
これからもお客様満足度の向上のため、お客様の声に耳を傾け、業務改善に結びつけるよう努めてまいります。

■ お客様の声を業務改善に結びつける態勢について

お客様満足度の向上のために、当金庫会員向けアンケート、広報誌「まちかど短信」を利用した一般のお客様向けアンケート、また、お客様から寄せられた苦情・ご要望のほか、

新聞報道等による金融機関の問題事例を真摯に受け止め、業務改善に結びつける態勢としています。

■ 令和2年度の取組み事例について

1. 店舗施設・設備等の改善に向けた取組み

- (1) 新型コロナウイルス禍における感染防止対策として、本店ATMコーナーにウイルス抑制・除菌用紫外線照射器(当該製品の導入は金融機関では初)を設置しました。
- (2) 高齢者や障がいのある方の利便性向上のため、本店および美園支店の入口階段に手すりを取り付けました。また、本店の入口階段の一部をスロープに改修し、車椅子の方も利用しやすいようにしました。
- (3) 高齢者や障がいのある方、あるいは緊急時に備えて、本店に車椅子(2台)を備え置きしました。
- (4) 立って伝票を起票することが困難なお客様のため、美園支店のロビーにロータイプの記帳台を設置しました。
- (5) お客様のご要望を受け、栗沢支店の改修に伴い、駐車場を全面的に整備しました。
- (6) 転倒事故防止のため、雨や雪でも滑りにくい「吸水マット」を全店に敷設しました。



2. サービス改善への取組み

- (1) 個人向けインターネットバンキングサービスについての基本手数料を無料にしました。
- (2) 預金規定を電子化し、お客様がパソコン・スマートフォンからいつでも閲覧できるようにしました。
- (3) 新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、非対面型の金融サービス拡大が求められていたことから、一定条件のもと、来店することなくインターネット上で消費者ローン契約手続きを完了できる「WEB完結ローン」の取扱いを開始しました。
- (4) 一時的な収入減少等による生活資金ニーズに対応するため「生活資金支援ローン」の取扱いを開始しました。
- (5) お客様の利便性向上のため、契約書作成支援システムを導入し、融資契約の手續き負担を軽減しました。
- (6) 当金庫のLINEアカウントを開設し、当金庫主催イベントの告知やキャンペーン商品の案内、WEB完結ローンの紹介等迅速な情報発信ができるようにしました。
- (7) 老後の資産形成の準備としてiDeCoへの関心が高まっていることから、商品ラインナップを充実させた「しんきんiDeCo(空知信用金庫コース)」の取扱いを開始しました。



「WEB完結ローン」の取扱い開始

令和2年8月3日(月)より、当金庫のホームページを介したインターネット経由で、仮審査申込みから契約手続き完了までを、お客様が来店することなくWEB上の手続きだけで契約が完結するローンの取扱いを開始いたしました。
※当金庫に普通預金口座を保有している等の一部条件がございます。詳しくはホームページをご覧ください。

WEB完結ローン
仮審査申込みは
こちら



空知信用金庫公式LINEアカウントの開設

令和2年7月14日(火)より、当金庫の公式LINEアカウントを開設しております。当アカウントでは、当金庫の商品情報や当金庫主催イベント情報の発信のみならず、地域の情報等も発信しております。地域情報のインフラとして是非ご利用下さい。



LINEの友だち追加から
ID検索またはQRをスキャンして登録してね♪

© LINE

■ 本店個人営業担当の配置

令和3年3月より、個人のお客様のニーズを把握し、預金・預かり資産・消費者ローン・相続など、ライフステージに合わせた、お客様の暮らしに役立つ様々なご相談にお応えしています。



■ 空知信用金庫 千歳法人オフィス

令和3年6月1日より千歳法人オフィス(旧札幌支店千歳事務所)は移転し、下記住所にて業務を開始いたしました。

新住所/千歳市千代田町7丁目1789-3
千歳ステーションプラザ4階

※当事務所の業務内容は事業性融資業務全般とし預金・為替業務は取扱いいたしません。
※当事務所はATMコーナーを設置していません。





お客様本位の業務運営に関する取組方針



- 1 お客様に対して誠実かつ公正に業務を行います。また、お客様の安定的な資産形成と最善の利益の実現を最優先に考え、商品をご提案いたします。
- 2 お客様に対して適切な情報提供を行い、分かりやすい説明を行います。
- 3 利益相反に関する適切な管理を実施いたします。
- 4 お客様本位の業務運営を実践するため、態勢を整備いたします。

詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。

■投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

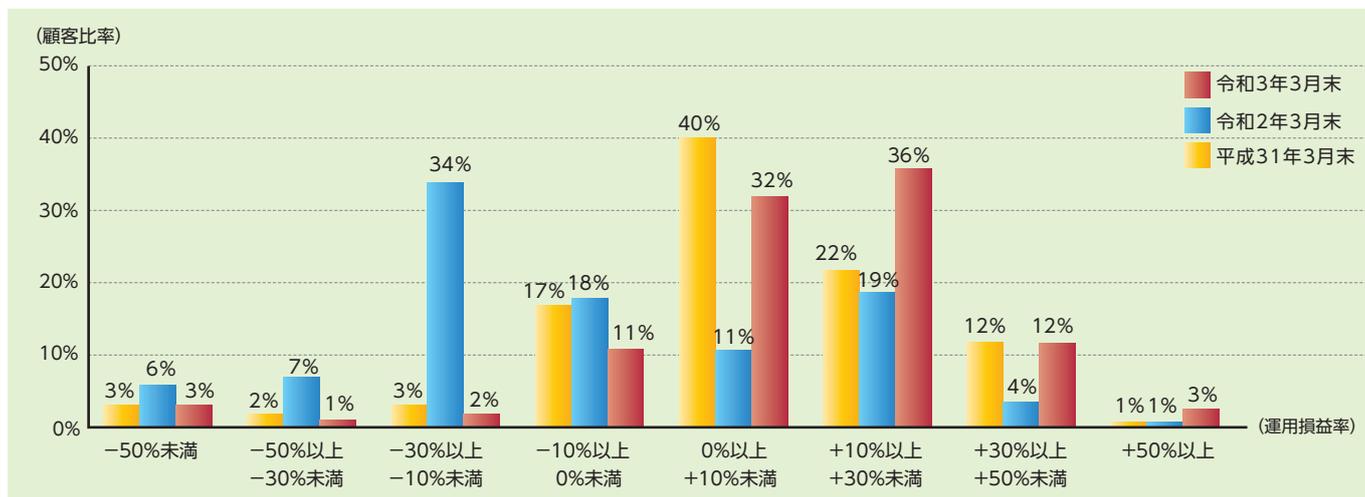
金融庁より平成30年6月に公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について令和3年3月末時点の当金庫実績を開示致します。

令和3年3月末時点においては、新型コロナウイルスの感染拡大に対応した金融緩和・財政政策の効果や、ワクチンの普及による景気見通しの改善からリスク資産価格が上昇し、多くの投資信託の基準価額も上昇しました。また、当金庫においては長期・積立・分散投資による安定的な資産形成をご提案しており、関連する自主的KPIについても開示致します。

引き続き「お客様本位の業務運営に関する取組方針」に則り、お客様にふさわしい金融商品の販売やサービスの提供に努めてまいります。

〈共通KPI〉

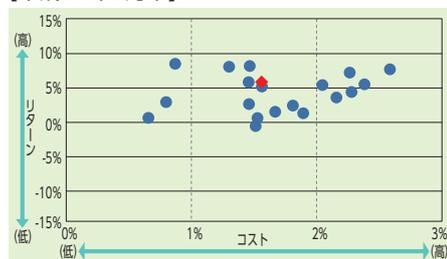
1 投資信託の運用損益別顧客比率



*投資信託の顧客損益=(基準日時点の評価金額+累計受取分配金(税引後)+累計売付金額-累計買付金額(含む消費税込みの販売手数料))÷基準日時点の評価金額

2 投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

【平成31年3月末】



【令和2年3月末】



【令和3年3月末】

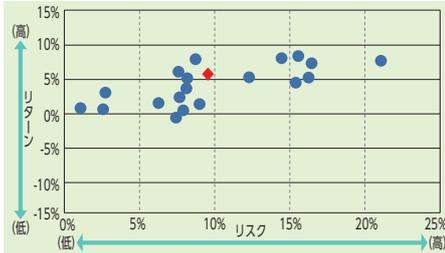


* D C 専用および設定後5年未満の銘柄を除く
 * コスト=販売手数料の1/5+信託報酬率
 * リターン=過去5年間のトータルリターン(年率換算)



3 投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

【平成31年3月末】



残高加重平均値 (◆) リスク 9.56% リターン 5.70%

【令和2年3月末】



残高加重平均値 (◆) リスク 11.29% リターン -0.87%

【令和3年3月末】



残高加重平均値 (◆) リスク 12.16% リターン 3.84%

※DC専用および設定後5年未満の銘柄を除く
 ※リスク=過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)
 ※リターン=過去5年間のトータルリターン(年率換算)

4 投資信託の預かり残高上位20銘柄

(単位: %)

順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン
①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49	13.73	3.55
②	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49	9.29	4.49
③	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71	4.86	0.97
④	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32	16.24	6.86
⑤	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41	19.43	1.11
⑥	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09	22.05	7.17
⑦	しんきんインデックスファンド225	0.88	16.54	12.90
⑧	しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型)	1.93	8.16	1.97
⑨	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60	10.60	4.23
⑩	東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)	1.56	2.87	0.46
⑪	しんきん世界アロケーションファンド	1.49	2.67	-0.72
⑫	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	2.20	6.49	2.23
⑬	ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	1.84	7.10	2.95
⑭	DIAM高格付インカム・オープン(1年決算コース)	1.54	7.16	1.78
⑮	ニッセイ高金利国債債券ファンド	1.54	5.50	1.51
⑯	アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)	0.81	2.79	2.10
⑰	三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	2.64	17.89	13.66
⑱	損保ジャパン・グリーン・オープン	2.31	17.46	8.27
⑲	しんきん公共債ファンド	0.66	0.72	-0.41
⑳	ダイワ・バリュー株・オープン	2.33	16.60	5.37

※DC専用および設定後5年未満の銘柄を除く
 ※コスト=販売手数料の1/5+信託報酬率
 ※リスク=過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)
 ※リターン=過去5年間のトータルリターン(年率換算)

〈自主的KPI〉

5 投資信託の平均保有期間



※平均保有期間=(前年度末残高+当年度末残高)÷2÷(過去1年間の解約額+償還額)

6 投資信託定時定額買付の契約状況



■「若手職員の《人財》育成プログラム」

若手職員の《人財》育成プログラムは、若手職員に求められる能力や期待する能力(人間力、知識、スキル)を明確化し、社会人、信用金庫人として求められる基本ルールを身に付け、空知信用金庫の基本方針や経営方針を理解し、誇りと情熱を持って、自ら考え行動できる「人財」として育成することを目的に実施しています。

研修の目的

金庫の基本方針を実現できる能力、熱意、考えを持った職員の育成を目的とする。

若手職員の人財育成プログラムの目的

新入職員から6年間に求められる能力や期待する能力(人間力、知識、スキル)を明確化(目標、ゴール)するため、若手職員の計画的、戦略的な人材育成プログラムを作成し、社会人、信用金庫人として求められる基本ルール(コンプライアンス、ホスピタリティ)を身に付け、空知信用金庫の基本方針や経営方針(理念教育)を理解し、誇りと情熱を持って、自ら考え行動できる『人財』を育成していく。特に、融資(法人・個人)が出来る人材を早期に育成し、地域のため、お客様のために課題解決を実践し、空知信用金庫人として必要とされ続ける能力(人間力、知識、スキル)を身に付けさせていく。

求められる能力、期待される能力

1. 【人間力】

- コミュニケーション能力
- コンプライアンスの徹底
- 経営理念と経営方針の理解
- 考え方、あり方、やり方の改革
- 収益意識(コスト意識)の向上
- 臨機応変な対応能力
(ホスピタリティ能力)

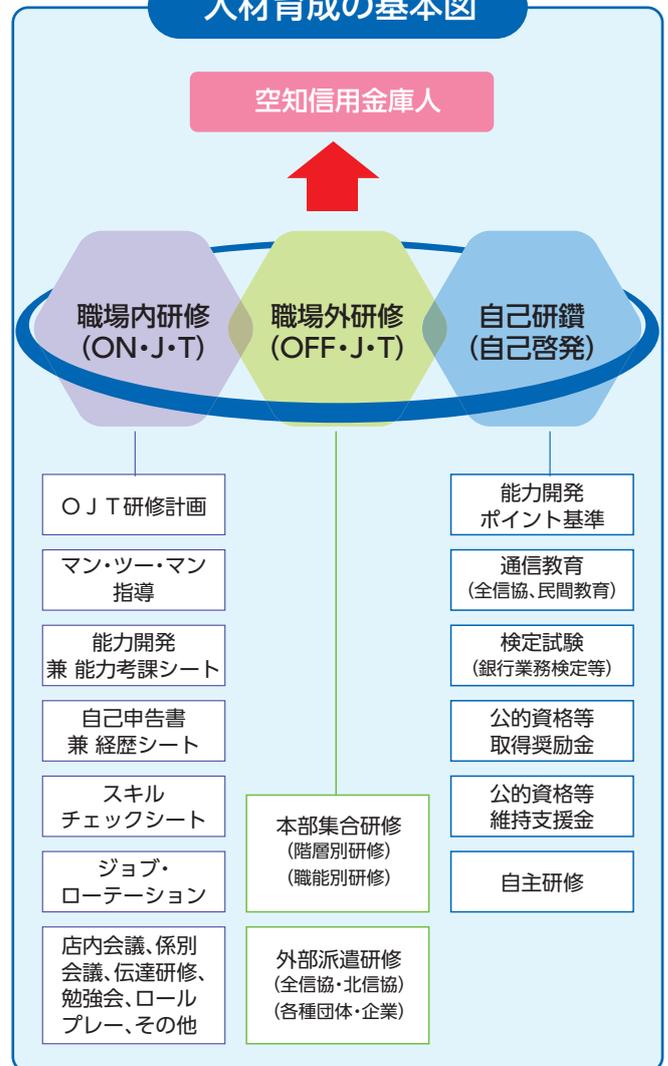
2. 【知識】

- 業務知識
- 商品知識
- 金融知識

3. 【スキル】

- 商品販売スキル
- 融資スキル
- 渉外スキル

人材育成の基本図



■令和2年度 新入職員入庫式



■当金庫クラブ活動の紹介(野球部)





当金庫では、専門的知識の習得と視野の広い人材の育成を目的として、他業界への派遣を実施しています。

岩見沢市役所への派遣研修 (平成30年4月から開始)

- 当金庫営業エリアの基幹産業である農業分野において、自身が持つ金融知識に加え、行政の視点や人的ネットワークを構築することによって、地域社会への貢献度を高めることを目的とし、2人目の研修者を派遣しております。(令和2年4月～同4年3月)
- 農政部農務課に所属し、岩見沢市における新規就農者支援や農業振興に関わる業務に携わっております。



鎌田 雅人

北洋銀行への出向 (平成29年10月から開始)

- 補助金申請サポートやビジネスマッチングなど、中小企業の本業支援等に必要な知識やスキルを習得するとともに、幅広い人的ネットワークを構築することによって、事業者への貢献度を高めることを目的とし、3人目の出向者を派遣しております。(令和3年4月～同5年3月)
- 地域産業支援部ものづくり・新事業推進グループに所属し、営業店からの各種補助金や助成金相談の対応等に携わっております。



寺前 和哉

北海道経済産業局への官民人事交流 (平成31年4月から開始)

- 国の官民人事交流制度を活用し、中小企業支援のスキルアップを目的とした府省庁への派遣。知識はもちろん、行政での業務遂行を通じた幅広い人的ネットワークを構築することによって、地域社会や事業者への貢献度を高めることを目的とし、2人目の交流採用となっております。(令和3年4月～同5年3月)
- 産業部経営支援課に所属し、ものづくり補助金や事業再構築補助金の相談受付、精査業務に携わっております。



渡辺 涼

くるみん認定

令和2年9月15日に仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる「子育てサポート企業」として、道内信用金庫で初めて”くるみん認定”を取得いたしました。



健康経営法人

当金庫は平成31年2月に、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する『健康経営』の取組が優良である」として、初めて健康経営優良法人の認定を受け、令和2年度も3年連続で認定を受けました。



当金庫では、「地域の皆様から『必要とされ続ける信頼度ナンバー1の金融機関』を目指します。」を長期ビジョンとして掲げており、ビジョン実現のために「組織の活性化」に取り組んでおります。それぞれの職場で活躍する若手職員に業務で心掛けていることについて聞きました。



武井 陸

本店 渉外担当 | 平成28年入庫 | 札幌学院大学卒

私は、渉外及び融資担当として、個人・法人のお客様へご融資や金融商品のご提案をさせて頂いております。地域密着の金融機関として、お客様から「何かあったら信金さんに相談しよう」と思って頂けるよう、お客様が本当に求めるものは何か、お客様にとって何が最善かを常に考えながら、全力で日々の業務に取り組んでおります。また、ご融資による支援に止まらず、給付金や各種制度のご案内等、ニーズに合った最善のご対応ができるよう心掛けています。金融機関の仕事は、直接的に形が残ることはありませんが、ご融資等を通じてお客様の車や住宅、事業所等の取得をご支援することで、間接的に形が残せる仕事であり、お客様から頂ける感謝のお言葉も含め、非常にやりがいを感じております。今後も、常にお客様のことを第一に考え、地域のお客様から必要とされる職員を目指し精進していきたく思います。



中山 詩織

平岸支店 預金担当 | 平成30年入庫 | 札幌大谷大学卒



私は、預金窓口担当として、お客様対応や預金商品等のご提案をさせて頂いている他、渉外係としても、お客様を訪問し、集金や資産運用等のご提案をさせて頂いております。お客様の様々なニーズに対応できるよう、コミュニケーションを大切にし、ご本人の意向、ご家族や生活スタイルを踏まえた商品をご提案できるよう心掛けております。また、ご提案の幅を広げ、お客様が選択する際の情報をより多く提供するためにも、研修や検定に積極的に挑戦し、自分のスキル向上に努めております。まだまだ経験も浅く、勉強の日々ではありますが、お客様への感謝の気持ちと向上心を忘れず、お客様に寄り添った、信頼される職員を目指していきます。

立花 龍人

札幌西支店 渉外担当 | 平成29年入庫 | 札幌大学卒



私は、渉外係として、集金業務や職域先、手稲、小樽エリアの新規開拓を中心に営業活動を行い、預金・融資問わず口座開設から事業性ローンの相談など幅広く活動を行っております。手稲、小樽エリアの新規開拓活動においては、複数ある金融機関の中から当金庫を選んでいただけるよう、お客様目線を意識し、融資に関する情報だけではなく、お客様にとって有益となる様々な情報提供を心掛けています。その中で当金庫を選んでいただいた時にとってもやりがいを感じます。まだまだ知識、経験ともに不足し未熟ではありますが、当金庫を選んでいただける様に自己啓発を図り、お客様から信頼される職員を目指します。



「金融仲介機能のベンチマーク」の公表について

「金融仲介機能のベンチマーク」(以下ベンチマーク)とは、平成28年9月に金融庁から公表された、金融機関における課題解決の取り組みなど、金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価する際に活用できる指標です。ベンチマークは、「共通ベンチマーク」と「選択ベンチマーク」から構成されています。

- ◆「共通ベンチマーク」…金融機関の仲介機能の取り組み状況や課題等を客観的に評価する指標です。
- ◆「選択ベンチマーク」…各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる指標です。
- ◆「独自ベンチマーク」…金融機関が独自に取り組んでいるもの。

「金融仲介機能のベンチマーク」

基準日: 令和3年3月31日
※金額は単位未満を切り捨て、割合は小数点以下第2位を四捨五入しております。

当金庫の長期ビジョンであります地域の皆様から「必要とされ続ける信頼度ナンバー1の金融機関」を具現化すべくベンチマークを活用して、お客様のニーズや課題解決に繋がる支援に積極的に取り組み地元企業の成長・発展及び地域経済の活性化に貢献してまいります。

◆取引先企業の経営改善や成長力の強化 ◆メイン取引先数の推移

取引先数およびメイン先の融資残高は増加しております。

ベンチマーク		平成30年度	令和元年度	令和2年度
メ	イ			
与	信			
メ	イ			
メ	イ			
経	営			
経	営			

※原則、融資残高20百万円以上が対象先です。
※メイン先～直近決算の金融機関取引のうち当金庫融資残高が1位の先です。
※経営指標等が改善した先～前年対比で売上高・営業利益率・従業員数のいずれかが増加した先です。

◆取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

新型コロナウイルス感染症等の影響から条件変更先数は増加しております。

ベンチマーク		平成30年度	令和元年度	令和2年度
条	件			
上	記			
好	調			

※売上高の計画と実績数値の対比で120%以上が好調、80%～120%未満が順調となっております。

◆創業支援

当金庫は、皆様の夢の実現を積極的にサポート致します。

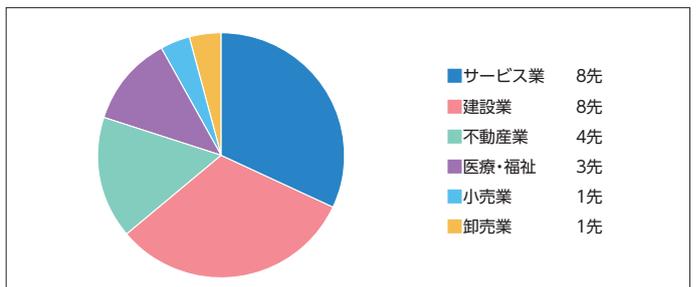
ベンチマーク	平成30年度	令和元年度	令和2年度
創業支援先数	51先	34先	25先

◆基幹産業(農業)への取り組み

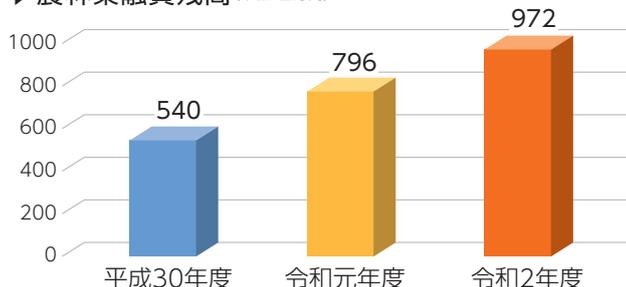
当金庫は基幹産業である農業分野に対するサポート強化に取り組んでおります。

農林業融資残高	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	540百万円	796百万円	972百万円
農林業融資先数	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	78先	134先	150先

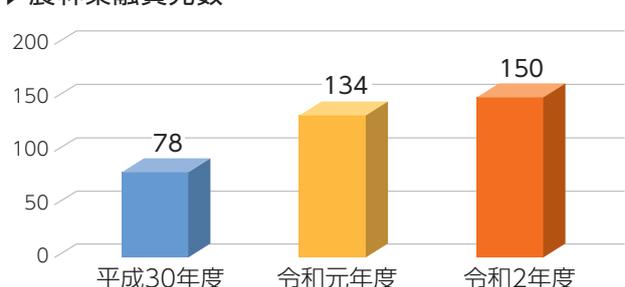
令和2年度 25社業種別内訳



▶農林業融資残高 (単位:百万円)



▶農林業融資先数



◆ライフステージ別の与信先数及び融資残高

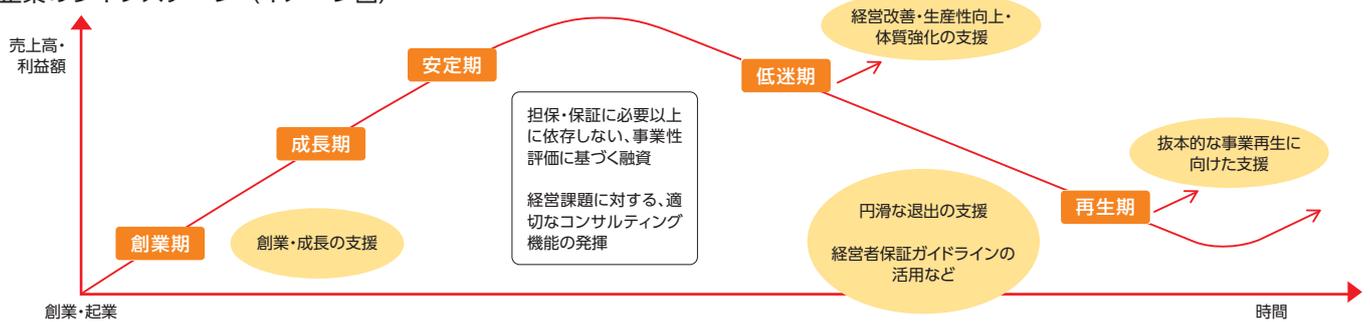
当金庫は、地域社会・地域経済を担う事業者様のライフステージにマッチした経営支援に積極的に取り組んでおります。

ベンチマーク	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	329先	106先	869先	197先	132先
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	87億円	57億円	393億円	62億円	26億円

※成長期以降は原則、融資残高200万円以上が対象先です。
 ※創業期～創業、第二創業から5年以内の先です。
 ※成長期～売上高平均で直近2期が過去5期の120%超の先です。
 ※安定期～売上高平均で直近2期が過去5期の120%～80%以内の先です。

※5期は2016年～2020年です。
 ※低迷期～売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満の先です。
 ※再生期～条件変更先です。

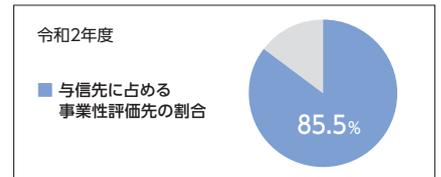
企業のライフステージ（イメージ図）



◆担保・保証依存の融資姿勢からの転換

ベンチマーク	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業性評価の融資を行っている与信先数	1,152先	1,531先	1,925先
与信先数	1,964先	2,031先	2,252先
与信先に占める事業性評価先の割合	58.7%	75.4%	85.5%

※与信先数は原則、融資残高200万円以上が対象先です。



ベンチマーク	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業性評価の融資を行っている先の融資残高	388億円	477億円	620億円
与信先の融資残高	660億円	703億円	855億円
取引先の融資残高に占める事業性評価先の融資残高の割合	58.8%	67.9%	72.5%

※事業性評価先～当金庫の事業性評価の定義は、お取引先企業の事業内容や成長可能性などを適切に評価し、「現状分析ヒアリングシート」、「ビジネスモデル俯瞰図」を作成している先です。
 ※与信先の融資残高は原則、融資残高200万円以上が対象先です。



◆ソリューション提案先数

当金庫は、課題解決型金融の徹底に努め、様々なソリューションの提案に取り組んでおります。

令和2年度実績	支援内容	
事業承継支援	4先	北海道信用保証協会の事業承継サポート保証の活用 4先
創業支援	25先	創業期の取引先への融資（プロパー9先、保証協会16先） 25先
M & A 支援	200先	M&Aマッチングサイト「トランピ」の提案登録 200先
販路開拓支援	43先	各種ビジネスマッチング 3先
		各種商談会への参加 33先
		信金中金の優待カタログへの掲載 1先
		景況レポート誌上ビジネスマッチングへの掲載 4先
		クラウドファンディングの活用 2先
専門家派遣支援	4先	北海道信用保証協会経営支援 4先
認定支援	9先	経営革新計画承認制度の活用 9先
補助金申請支援	19先	ものづくり・商業・サービス革新補助金 10先
		持続化給付金 6先
		食品衛生認証取得 1先
		北海道中小企業応援ファンド事業 2先

◆新型コロナウイルス感染症対応資金等の取り組み

当金庫は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者支援に力を入れております。

コロナウイルス対応資金融資件数	1,429件	コロナウイルス対応資金融資額	222億円
-----------------	--------	----------------	-------